



いずみ

令和3年10月1日発行

和泉小の教育目標

かしこい子

やさしい子

たくましい子

(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <<http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>> 校長 鷲見 真太郎

「認める」ことを大切に

校長 鷲見 真太郎

1学期も残り少なくなっていたある日、いつも通り、朝校門に立っていると、ある5年生の児童が、挨拶とともに私に話しかけてくれました。内容は、朝会の講話で、校長先生の尊敬する偉人の話をしてほしい、というものでした。「ぜひ考えてみますね」と応じたものの、いざ考えをまとめようとすると、少し困ってしまいました。

「伝記」と呼ばれるジャンルは、かなり日本に固有するものだと言います。少なくとも欧米にはこのようなジャンルはなく、そもそも親たちには偉人の教えを見習わせて、我が子の成長の糧にしたい、といった考え方自体がないようなのです。確かに、西洋の個人主義的な発想からすると、納得がいきます。個人の生き方や成功につながる方法は人それぞれなので、人のまねをしたところでうまくいくとは限らないですし、私自身も同意できる部分は大きいです。

何かを成し遂げた偉人に思いを馳せ、夢や憧れをもって努力することは、素晴らしいことだと思います。そうしたモチベーションは、人間にとって大きな活力・原動力となって、前向きに生きていく上での核となります。そういう意味で、子供たちには夢や憧れ、目標などは大事にしてほしいです。

一方で、夢をもつこと、それに向けてあきらめずに努力し続けることだけに価値を置くのは、やや反対です。夢に向かって努力する過程ではうまくいくことばかりではなく、必ずどこかでうまくゆかず、挫折します。時にはそうした挫折や失敗により、夢をあきらめなければならなくなります。夢をかなえられる人間の方が数少ないことを考えると、むしろほとんどの人間が、成長過程でかつての夢をあきらめなければならないとも言えます。私は、この失敗や挫折、そして夢を失ったりあきらめたりすることと、それをどのように捉え、乗り越えるかという部分こそが、人生において最も大事な分岐点だと考えます。

人間は死ぬまで学び続け、成長し続けます。私自身もそうした人生観で生きています。ただ、一方で自分以上にはなれないとも考えます。それは、決して自分の可能性を限定してしまうのではなく、むしろ自分にできること、努力によってできるようになったこと、これからすべき努力などを冷静に捉え、積み上げていくことだと思っています。

子供たちは一人一人違います。夢や目標も、課題も人それぞれです。成長するためには、自分が努力した結果、どう変わったのか、何が身に付いたのか、など自身の状態を客観視する必要があります。当然、それは自分ひとりの力では補いきれません。よって、教師や保護者など周りの人間がそれを伝えてあげる必要があります。それが、「認める」ということです。

子供たちは「認める」ことで、自身の成長を実感し、より力を伸ばすことができます。また、自尊感情の向上にもつながります。結果を「ほめる」こと以上に、「認める」ことを、和泉小学校では今後も大切にしていきます。

緊急事態宣言は解除されましたが、コロナ禍が終わったわけではありません。様々な対策が継続される中、子供たちの成長のためにすべきことを、我々周りの大人たちが意識したいところです。

10月の行事予定

1日(金) 脊柱側弯検査(5年生) 安全点検日
あいさつ週間終 笑育(6年生)

2日(土) 英語検定(希望者)

4日(月) 委員会活動 安全指導日

5日(火) 社会科見学4年生

8日(金) 4年生水道キャラバン

7日(木) 交通安全指導日①

9日(土) teamsによる学校公開日
午前授業 特別時程
避難訓練(引き取り)

11日(月) 放送朝会 クラブ活動

音楽の街狛江(5・6年生)

12日(火) 1年生遠足

14日(木) 交通安全指導日② 3年生遠足

15日(金) 社会科見学5年生

18日(月) 放送朝会 クラブ活動

20日(水) 特別時程 午前授業 就学時検診

21日(木) 2年生遠足 笑育(6年生)

23日(土) 漢字検定(希望者)

25日(月) 放送朝会 読書週間(～11/5まで)

26日(火) 6年生遠足

27日(水) 三中新入生説明会